

SEC-802L

スーパーサウンド2Eチェッカー

取扱説明書

このたびは、「スーパーサウンド2Eチェッカー SEC-802L」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意



警告

- ご使用前には必ず既知の電源で確認してください。
- 高電圧 (AC600V以上) には使用しないでください。感電の恐れがあります。
- 本器を改造したり、分解しないでください。
重大な事故の原因になる恐れがあります。



注意

- 使用を開始する前に、外観構造等に異常がないかを点検してください。
- 被覆検電機能において接地されていない金属管・ケース等は誘導電圧で誤動作する場合があります。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。
- 落下、振動、衝撃など強い力が加わらないように注意してください。故障の原因になります。



使用上の注意

- 保管する場合は、直射日光の当たらない乾燥した所に保管してください。
また電池は本体から抜いて保管してください。
- 本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。
- 子供に触れさせないでください。
- 電池は付属していません。
アルカリボタン電池 LR44×2 をお買い求めください。



使用前の確認

- ON/OFF ライトスイッチを2秒間長押しすると、LEDが発光、ブザーが「ピー」と発音します。
この時、動作しない、発光・発音が弱い場合は電池を交換してください。
- 既知の電源で動作確認を行い、感度を確認・調整してから使用してください。

特長

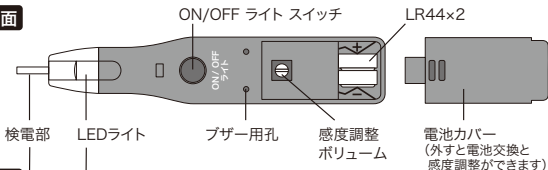
- 手袋をはめたまま検電作業ができる (端子部を指で当てる必要がない)
- 交流電圧の活線状態を非接触で確認できる検電器
- 音と光でわかりやすい
- LEDライト付: 約20秒間点灯後自動消灯
- 電池交換表示: 電池電圧が低下するとLEDが点滅
- 感度調整機能付
- オートパワーオフ: 無操作約4分で電源オフ

仕 様

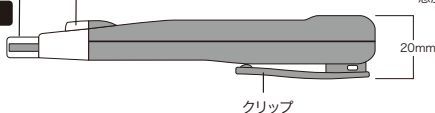
- 使用電圧範囲 : AC80V～600V
- 動作表示 : ブザー鳴動、LED点灯
- 絶縁耐力 : AC2000V 1分間 検電部～クリップ間
- 使用電池 : アルカリボタン電池 LR44×2
(電池は付属していません。別途ご用意ください)
- 電池寿命 : 連続動作状態 約3時間
- 使用温度範囲 : 0℃ ～ 40℃
- サイズ : 110×20×20mm
- 質量 : 15g(電池含まず)

各部名称

おもて面



側 面

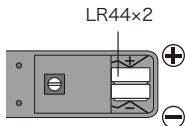


うら面



電池の交換方法

1. 電池カバーをはずします。
 2. 古い電池を外し、新しい電池と交換します。電池を装着する時は+/-の間違いがないようにしてください。
 3. 電池カバーを取付けます。
- 使用電池: アルカリボタン電池 LR44×2



使用方法



注意

検電時は、本器をしっかり握ってください。軽く握んだ場合、反応しにくい、もしくは反応しない場合があります。(図1)

1.ON/OFF ライトスイッチ

- ①ON/OFF ライトスイッチの2秒長押しで電源が入ります。ブザーが「ピー」と鳴り、LEDが点灯します。(図2)
- ②短押しする度にLEDライトがON/OFF します。(図3)
(約20秒間点灯し、自動消灯します。)
- ③スイッチの2秒長押しで電源が切れます。

図2

ON/OFF ライトスイッチ

- 長押し:電源のON/OFF
- 短押し:LEDライトのON/OFF

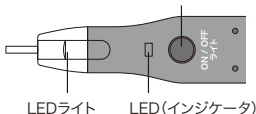


図1 しっかり握る

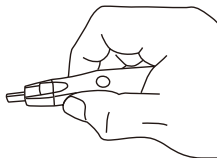
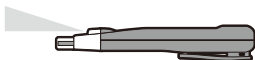


図3

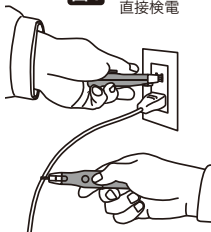


2.直接検電

- ①電源を入れ、LEDインジケータが点灯していることを確認します。
- ②本器をしっかり握って検電部をコンセント等の充電部の端子にあてます。(図4)
- ③非接地側(活線側)にあてるとブザーの鳴動とLEDが点滅します。
- ④接地側の場合は反応しません。

図4

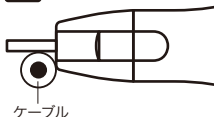
直接検電



3.被覆検電

- ①電源を入れ、LEDインジケータが点灯していることを確認します。
- ②本器をしっかり握って検電部の根本にケーブルをあてます。(図5)
- ③非接地側(活線側)にあてるとブザーの鳴動とLEDが点滅します。
- ④接地側の場合は反応しません。

図5 被覆検電



※断面が円形のケーブルは反応しにくい場合がありますので、全周を検電してください。

- ・直接検電と被覆検電の切替操作はありません。
- ・直接検電と被覆検電の動作時の発光・発音は同じです。

感度調整

- ①電池カバーを外します。(図6)
- ②検電部を被測定物に当てた状態で、マイナスの調整ドライバー(先端サイズ:2.5×0.5mm以下)で、ボリュームを回し感度を調整します。(出荷時設定は中央)(図7)

図6

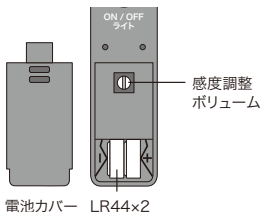
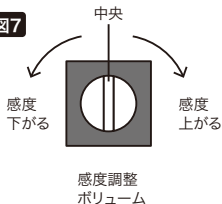


図7



注意

- ・感度は電線の種類・環境により異なります。
- ・使用する条件に合わせて感度を調整してください。
- ・調整ドライバーで、ボリュームを強く押さえないでください。破損の原因になります。